

総合計画（H30 施策）外部評価委員会（要点筆記）

令和元年 10 月 31 日開催

施策 1 観光戦略の推進	
委員	外国人の観光客に対して、外国語の対応はどのように行っているか？
執行部	外国人観光客が訪れるコースは多様化している。決まったコースを回るのであれば通訳等の手配もできるが、様々な場面での外国人への対応を考え、50 数カ国語に対応した「ポケットーク」という翻訳機を今年度導入した。観光協会での案内や道の駅等外国人が訪れるであろうというお店で使ってもらっている。今後、ネット環境が充実し、5G で大量に情報発信できるようになればスマホでの案内もできるようになると想定している。
委員	グルメ推進事業について、H30 年度の振り返りで創業支援要綱の見直しとグルメ審査要領等の作成に時間を要し、事業開始に至らなかったとあるが、グルメ推進事業の現状は？
執行部	今年度中のスタートを考えている。進出店には奨励金を準備し、開業費については現行の創業支援補助金を活用しながら、きちんと根付くように支援を行いたい。要綱が素案の段階であり、今年度中には募集を開始したいと考えている。
委員	菊池市グルメ推進事業については、達成度に×が付いているが、内部の要綱改正に時間を要したため遅れたという理由は、業務の進行管理に問題があるのではないか？
執行部	どんな店舗を対象にグルメ店と認定するか等の検討に時間を要した。進行管理に問題があった。
委員	地震後、観光振興の取り組みは、全般的に良くやっている。他方で、菊池渓谷に公共交通機関があればその時間に合わせて自由に行けると思うが、素敵な観光資源があるのに自家用車がないと行けないのは残念だ。さらに新しい観光客を呼び込むうえで何か工夫していることはあるか？
執行部	新しい観光客については、外国人観光客をターゲットに、菊池の良さを売り出している。菊池渓谷へのアクセスについては、シャトルバス等は準備してないので自家用車での周遊になる。あいのりタクシーの活用もあ

	<p>るが、便数が4便しかなく時間的な制限があるため、利用が進んでいない。その点も今後の研究課題だと認識している。</p>
委員	<p>そのためには「市がシャトルバスを準備すればいい」という話ではなく、民間のビジネスチャンスを引き出すやり方があるはず。菊池が元気になるには、まず観光面だと期待している。</p>
委員	<p>Facebook などでも PR されているが、まだ「菊池はどこにあるの？」という方もいる。「ポケットーク」もいいが、人を介さないとコミュニケーションという部分では何か足りない。目的があって菊池に来てくれたり、魅力を感じて来てくれたり、この人がいるからまた会いに行きたいというように、繋げていくことで未永い関係性が続く。生涯学習の観点でガイド育成の英会話教室を開いて観光ガイドになるとか、英語を勉強したいなと思ってらっしゃる高齢者もいるので、そういう人が活かされる場があればいいと思う。</p>
<p>施策 2 菊池ブランドの推進</p>	
委員	<p>インターネットショップ「まるごと市場」には、菊池基準がないと出荷できないという説明を受けたので、最初に基準を取って登録をして、「まるごと市場」に出荷している。去年、旭志、泗水、七城と地区ごとに菊池基準の説明会があったが、まだまだ知らない人が多い。直売所に菊池基準の説明状況を聞いたところ、最初にあって以来、説明がないと聞いた。菊池基準の登録戸数の目標値が、現況に比べかなり高く設定してあるが、順調に伸びる予定か？</p>
執行部	<p>後継者不足や高齢化といった問題もあり、農家数は減少傾向である。菊池基準を付加することで高価格帯の取引や販路拡大に繋がっているというメリットを生産者に伝えて、菊池基準の登録戸数を増やしている。目標値は高い設定であるので、現状に応じて見直しが必要だと考えている。引き続き菊池基準が活きる方策を進め、農業所得の増加に繋がってきたい。</p>
委員	<p>菊池基準の推進に当たっては、JA との連携は取れているか。JA からは、菊池基準の話を聞いたことがないので、行政と JA は、もっと連携を強化すべきだと思う。</p>
委員	<p>質にこだわってハイレベルなところ狙っている。登録戸数よりも販売額、菊池基準で出しているのにそんなに農家が儲けていないということは、菊池基準を市場がきちんと評価していない可能性があるのではないだろうか。登録農家数を増やすことは1つの目標ではあるが、本当に良いものを市場に届け、評価されて農家の所得が上がるのがいいと思う。オーストラリアでは、この牛は自然放牧とか、混合飼料を混ぜて食べさせたといった内容を肉のメニューに書いてある。そうすることで倍ぐらい価格が違っていたりする。市場の成熟を待</p>

	たなければいけないのかもしれないが、菊池基準という独自の基準が牽引力を持つようになるといいと思う。
委員	農業を使っている人も菊池基準を認定します、ではないので、一定の人数、こだわって作っている人に対してのみ菊池基準を認定するような考える余地があるのではないかと。菊池基準の表示があることが、これを買うだけの価値があるということ、どれだけ感じているのか。菊池基準の意味をもっと外に伝えていかないと他の商品と同じように、単にうちで作っているから菊池基準があるというように思われるようでは、商品価値は変わらない。こだわって作った商品は、市場価格よりも高いけど、お金を出すという人は世の中に沢山いる。そこに消費者の気持ちを誘導するような菊池基準のアピールの仕方、ほかの商品との差別化について、何が違うか示すことが重要である。
施策3	農業の振興
委員	高齢化は逃れようのない事実であり、新規就農を進めたとしても農家の減少はある。そのため、産出額を維持するのか、量を維持するのか、菊池基準で付加価値を上げていくとか、戦略は色々あると思う。菊池では豊かな農林産業を維持するために、どんな戦略を持っているのか？
執行部	高齢化と農家の減少は全国的なものだが、集落営農という制度で自分の田畑を集落の担い手に任せて農地を維持している。また、組織化としては、法人化という会社組織にして農地の活用を進めている。新規就農については、旧菊池地域では2反から農業者に認定することで農地を買ったり借りたりできるので、そういった意味では、新規就農しやすくなっている。
委員	米、メロンなど素晴らしいブランド産物がありながら、後継者がいなくてジリ貧になっている。全く違う発想で、生産できる環境を維持できないだろうか？
委員	メロン農家が減っている。七城にはとても作るのが上手な人がいる。そういった人がリタイヤした後、後継者育成の意味で指導していただく仕組みができればいいと思う。
委員	農業を子どもが継がない時代なので、技術と事業を継承していく仕組みを他人に繋いでいく方法が必要かもしれない。自然や病害虫と戦っていく必要があるが、全国屈指の高品質な農産物を生かす工夫をすると、菊池のポテンシャルは高いと思う。新規就農者だけに頼るのではなく、もう少し攻めの産業を維持できるような状況ができるといい。

執行部	新規就農者の中には後継者も入っており、菊池市の新規就農者は、県下でも一番多い方である。メロンの作付けも勧めているが担い手がおらず、技術が衰退するのではと非常に心配している。新規就農者を増やすだけでなく、どのように技術を継承していくかも検討していく必要がある。
委員	第6次産業についての進捗状況は？
執行部	補助金上限50万円を活用して畜産業の方が焼肉屋を始められたり、お茶を活用したお茶のチョコレートなどを開発し、多方面での販売に繋がっている実績がある。
施策4	商工業の振興
委員	今、外国人労働者が菊池にも多く参入しているように感じるが、どれぐらいか？
執行部	人口減少に伴い労働人口も減少しており、外国人労働者は確実に増えている。日本人と一緒に社会生活する必要があるため、きちんとしたケアも必要である。産業分野で貢献してくれる市民の一人として受け入れることも重要である。
委員	中心市街地の活用可能な空家、空き店舗の調査を実施とあるが、その現状は？
執行部	平成29年、30年に隈府地区の空家、空き店舗、空地进行118件調査した。その結果、空家、空き店舗の57件のうち8件は貸し出ししてもよい、55件の空き地のうち、2件は貸す意思があるということだった。しかし、菊池の商店街は長屋形式の空家が多く、表が店舗で裏が住居となっている。そのため貸すことを渋られる方が多い。
委員	お店を開きたい人とのマッチングは今年度の事業で取り組むのか？
執行部	マッチングについては、地域おこし協力隊が10月に空き店舗ツアーを行い、5人の参加があった。引き続き空き店舗ツアーを行う予定である。
委員	全体評価が要改善とあるが、どの部分をどのように改善するのか？
執行部	2つの要改善のうち、1つは空家・空地、もう1つは「歩き愛です」という事業であり、取り組みが伸び悩んでいる。空家の解消と来店を増やす「歩き愛です」を含めて賑わいを作りたいが、商店街が閑散としているので評価としても要改善としている。

施策 5 学校教育の充実	
委員	総合評価は概ね順調だが、なかなか成績が上がらないようだ。何か課題はあるか？
執行部	ICT を活用した、個の教育を重視しており、その中で基礎的な学力をつけることに力を入れている。5 段階評価のうち 1 評価の子どもは年々減ってきた。学力不振の子どもは減ってきたが、都会のように塾に通いながら切磋琢磨している子は少ない。また、中 1 ギャップを解消するために、小中の連携協力を行い、春休みに中学校の先生が小学校の子どもたちに課題を出す取り組みを行っている。ある程度の効果は感じているが、偏差値向上という効果は見えていない。今後発展的な教育という面でタブレットの活用を増やし、偏差値向上に繋げていきたい。
委員	学力不振の子どもが減ったことは実績としていいが、周囲が伸びるような動機付けや工夫など、先進的な授業に取り組んでいると思うが、成果が出るようになるには、まだ時間がかかる。
委員	県内における偏差値の状況は把握しているか。昔から教育熱心な地域は、そこそそ学力を維持してるとか、小中一貫校に変えたところは回復してるといったパターンはあるのか？
執行部	小中一貫教育については、今年度検討を行っている。小規模校の良さはありながら、大規模校で切磋琢磨して育つという競争性を養う力も必要と考えている。今の子どもたちは、学力よりも体力面の方が優れており、運動面では全国大会に出る子どもも多いる。もっと学力の方に保護者も含めて意識をシフトできればと思う。
委員	シングルマザーが増えていると思う。最近の学校環境はどんな状況か？
執行部	不登校の子どもへの対応として、適応指導教室を設けており、保護者の相談にも応じている。中学校では、「心の相談室」を設けて個別に対応している。また、本年度から九州ルーテル学院大学と連携して、心のアンケートを行っている。何かしら問題を抱えている子どもたちの状況を、児童心理学をもとに判定し、いじめにあっていたことを発見したという事例もある。
委員	スポーツも大事だが、勉強にも力を入れるべきだと思う。スポーツだけでご飯を食べていけるのは一握りであって、それが絶たれたときにその子の人生が破綻する。不登校の子どもに対し、学校に戻ることに全力で力を注ぐのか、あるいはその子らしく生きることには力を注ぐのかは、凄く難しい問題である。極論を言えば学校

	<p>に帰ることがベストではない。子どもたち一人ひとり環境が違うので、先生方だったり、サポートする方は大変だが、その子どもの環境に応じた丁寧な対応ができるよう、行政も力を貸して欲しい。</p>
執行部	<p>学力支援だけでなく、不登校解消の対応として、本市独自に年間 1 億円ほどかけて補助教員、支援員を 28 名ずつ配置している。不登校児童生徒の数は、平成 28 年度で 61 名、29 年度で 53 名、30 年度で 64 名。不登校ではないが、10 日以上欠席したものの、不登校傾向の児童生徒数は、28 年度が 39 名、29 年度 22 名、30 年度が 20 名と減少傾向にある。</p>
委員	<p>学校に適應しない子どもたちにとって別の逃げ道がない、何か別の生き方を許容されない地域だと本当に心が壊れてしまう。都市部では、小学校には通わせない親がいたりもする。菊池市では多様な取り組みがあるか？</p>
執行部	<p>本市においては不登校の小中学生を対象に、学校に戻る前に仲間づくりを目的にした「サマースクール」の取り組みを行っている。サマースクールを経験した子どもが、現在高校生になり、自分の経験をこのスクールに参加して話をしている。今ある学校に行くのではなく、その 1 つ手前で人間関係の作り方をしっかりやったうえで、学校生活に繋げている。</p>
委員	<p>義務教育までは、いろんな人が気にかけてくれるが、高校に進学できない、あるいは進学したくないという子どもたちが、地域や人とのコミュニティが途切れてしまうのは残念だ。そんな子どもたちが、大人になるステップの部分も何かサポートしてあげないと、家に籠ってしまう子ども達は、社会に戻るきっかけがなくなる。</p> <p>義務教育ではないという観点からは、中学校から先は学校教育課から離れるかもしれないが、例えば福祉課に繋ぐなどすべきかもしれない。行政はうちの課でないので分からないと言われるが、その仕組みはダメだ。若い人は、これからの菊池市を担っていく人材なので、潰すのではなく、生かす方法を考えて欲しい。</p>
執行部	<p>今の課の人員では、職員の人材育成、経験を積ませることができない。現在、社会教育に詳しい職員がいない状況。</p>
委員	<p>人、予算を増やしてくれないのは、組織で大した問題ではないと認識されている結果であり、本当に必要だと担当課が考えるのであれば、しっかり伝える努力をすべき。必要と思うことを諦めていると、菊池市はそこまでだという評価を受けることになる。</p>
執行部	<p>義務教育から先のことについては、生涯学習課でも社会教育の観点で、教育分野に限らず福祉分野と連携するの必要を感じた。今のご意見を他部署と連携を図りながら検討していく。</p>

委員	部を超えた議論を、今日のような機会をきっかけに、それぞれの部長が連携していただきたい。
施策 6 生涯学習の推進	
委員	公民館の講座は、色々頑張っていると思う。私も先日講座を受講したが楽しかった。図書館の図書貸出し数は、実数として借りる人が増えたのか？
執行部	図書の貸出し数については、以前はヘビーユーザーの方が多くの冊数を借りていたが、生涯学習センターが完成してからは、借りに来る人自体が増え、貸出し数が増えている。
委員	ハード面は素敵なものができておりいいと思う。ソフト部分で工夫されていることはなにかあるか？
執行部	図書通帳を小中学生に無料で配付したり、高齢者の方にも活用してもらっている。それ以外に近隣の市町村にある図書と重複しないよう、本を購入している。また、選書の部分でも好奇心をそそるようにしている。
委員	出前講座の実績が若干減っているが、講座メニューは工夫をしているか？
執行部	利用される講座には偏りがあり、健康問題、消費者問題、環境問題など、限られたものに要望が多い。毎年見直しを行っているが、今年度から自治公民館に対して出前講座の活用について働きかけを行っている。
委員	生涯学習という面で地域の人が知り合って、地域活動に結びつくようなきっかけがあればいいと思う。中央公民館だけの活動ではなく、各地域を支援するような生涯学習のあり方について、何か戦略や取り組みはあるか？
執行部	各地域の公民館で特色を活かした運営を行っている。今年度からは公民館長を配置し、地域とのつながりを密にしながら地域を活性化する取り組みを行っている。また、地域学校共同活動推進事業があり、地域と学校が連携していくような取り組みもやっている。
施策 7 スポーツの振興	
委員	スポーツボランティアの登録者数が増加したとあるが、スポーツボランティアの資格について基準はあるか？

執行部	スポーツボランティアの資格については、特に規定はしていない。高校生から大人まで幅広く登録を呼びかけている。大会ごとに競技内容に応じて案内をしている。
委員	市民力を生かした大会運営が施策の目標となっている。市民が主体となったスポーツイベントを実施することはあるのか？
執行部	市民がイベントを主催するのではなく、おもてなしや大会運営の協力をいただいている。
委員	市民と行政が、協働でやっている体制が素晴らしいと思う。
委員	スポーツ振興面で、その他にプラスアルファで何かあるか？
執行部	健康づくりを主体とした取り組みとして、健康推進課と協力して軽スポーツを推進し、市民の健康づくり力を入れていきたい。
委員	小学校の部活について社会体育への移行がスムーズだったが、他の市町村では結構難しかったようだ。菊池市で工夫されたことは？
執行部	社会体育施設使用料の減免や、既存のスポーツクラブ、新たに立ち上げたスポーツクラブとの話し合いを密に行った。近隣の自治体では、施設使用料についてスポーツクラブに対しての減免がないと聞いた。本市の場合は、半額免除している。新たに立ち上げたスポーツクラブは、経営体力がないので、利用料を減免したことでクラブ側にとってプラスに働いたと考えられる。
施策 8 市民協働とコミュニティ活動の推進	
委員	「ハイスクールフェスティバル in 菊池」は、市内 3 高校の生徒たちが自校を紹介している。3 校は、定員割れが続いているようだが、取り組みの効果は上がっているか？
執行部	ハイスクールフェスティバルに市内中学 2 年生を招待している。発表内容は高校に任せているが、自分たちの高校の良さを PR して 3 高校に進学してほしいという目的がある。中学生の保護者、地域の方も案内している。フェスティバル自体は好評であるが、市内高校への入学にはなかなか繋がっていない。
委員	地域づくり総合事業で地域づくりを推進する団体に補助金を交付するとあるが、現在の交付実績は？
執行部	約 220 行政区のうち、申請は 10 件程度。

委員	補助金を出されたところではどのような活動をされているのか？
執行部	補助制度の趣旨は、地域がコミュニティ活動を通じて活性化することである。具体的な取り組みの例として、ホテルが見られる地域での案内看板設置や地域の祭りへの支援などがある。
委員	地震後、地域活動を熱心に行っているところと、そうでないところの格差が開いてきている。行政から地域の取り組みに対して助言するなど地域の活性化に繋げて欲しい。
施策 9 交流活動の推進	
委員	市在住外国人が増えていることと、国際交流のつながりを、どう考えているのか？
執行部	今の時点でどのように共生していくか、はっきりとした方針が無い。やっと外国人との関わりについて庁内でも課題認識を持ち、議論が始まったところである。
委員	交流は韓国との交流が主だが、現在、国際情勢は厳しい状況である。今後、韓国や中国との交流をどのように考えているか？
執行部	国際交流は相手があることなので、交流のやり方は相手方と検討する必要があると考えている。国際交流の個別の取り組みは行っているが、国際交流についての基本的な方針がない状況であり、現在検討中である。
委員	グローバルな交流を進める場合、諸外国との付き合いをどうするのか、外国人とどういった目的で交流するのか、一度整理をすべき。
委員	都市間交流は大変うまくいっていると思う。総合評価で要改善というのは、国際交流のやり方に課題があるのか？
執行部	国際交流のことや、ふるさと納税のこともある。広がりを持たせるような方策が課題である。
委員	ふるさと納税の返礼品はすべて菊池基準のものなのか？
執行部	加工品は違うものもある。
委員	ふるさと納税事業において、熊本地震後の平成 28 年度～令和元年度にかけて、寄付額が減っている。何か対策はしているのか？

執行部	分析を行っている。昨年度は年度当初の4月に、パンフレットができていないなど、準備ができておらず出遅れた。他にも仕事を適切にできていない部分があったので、去年から今年にかけて整理を行った。まず、返礼品の見せ方を検討する必要があると考えている。
委員	事業管理は、年間通して台帳を作り、いつやらないといけないとか基本のところを徹底すると水準が上がるかもしれない。
施策 10 歴史文化の保護・活用	
委員	文化財の保管場所はあるか。将来的に資料館の整備の方向性は？
執行部	文化財は、現在市内各所に分散して保管している。文化財の集約は、土地であったり、どういう形の収蔵倉庫にするか等について他市の状況を調査している。今後、段階的に収蔵と作業ができる場を確保し、その後活用や展示ができるように整備をしたい。
委員	菊池川流域の遺産に関しては、県と関係自治体が一緒になって、認知度向上に努める必要がある。講座の参加についても、協力して欲しい。
執行部	昨年度も公民館講座の中で日本遺産講座を行ったり、イベントでも取り扱ったりしている。今後も、認定ガイドたちのフォローアップや実践など色々な取り組みをしていきたい。
委員	鞠智城の国営公園化に向けて進捗しているか？
執行部	国営化に向けて直接的には県が中心となって陳情など取り組んでいただいている。本年度も、県、山鹿市と連携し鞠智城の日などでPR活動を行っている。
施策 11 男女共同参画社会の実現	
委員	女性の委員が増えていることは、喜ばしいこと。「委員選考には女性委員をできるだけ選んでください」というやり方は、少し強制的だと思ったが、それくらいやらないと増えないのかなと思った。
委員	女性が活躍できるように女性委員を取り入れていべきと思う。わが家では全然進んでいない。自分の意識が古いのかなと思う。娘達の世代は、夫がオムツを替えたりしている。徐々に変わっていくと思う。

執行部	家庭によって違うが、平成 30 年の意識調査によると固定的役割分担には同感しないという意識が高くなっているが、実際には家事・育児・介護については女性に偏っていることがわかる。
委員	女性の管理職はどのくらいか？
執行部	全体としては 18.5%から 20.0%で少しずつ伸びてきている。
会長	県の状況はどうか？
委員	県では女性の係長級以上は 19%。
委員	男性が女性の活躍を阻んでいるというよりも、女性が自ら活躍することに遠慮しているのではないか。女性は女性であることに誇りを持つことが重要だと思う。活躍している女性にスポットライトを当てて見せればいい。女性の意識が変わらないと、男女共同参画は進まない。
執行部	男女共同参画推進の啓発のための情報誌「ともに」を毎年発行しており、今後も継続して情報発信を行いたい。
施策 12 人権教育の啓発の推進	
委員	近隣の自治体と比べて菊池市は人権教育に熱心か？
執行部	菊池郡市は、人権教育に関して熱心であり、その中でも特に菊池市は熱心だと思う。
委員	子どもへの虐待、親の DV などによる子どもの人権侵害がある。もっと人権教育を充実すべきでは？
執行部	子どもの虐待とか身近な事柄を今後取り上げていく必要があると感じている。
委員	福祉課と連携して課題を共有して取り組むことはないか？
執行部	人権擁護委員と具体的な連携や予防活動を行っている。
委員	人権に関しては学校も熱心に取り組んでおり、いい傾向にあると思う。しかし、子どもたちが差別的発言をしたという報告がある。保護者を対象にした研修会などを実施する必要がある。
施策 13 子育て支援の充実	
委員	保育園の待機児童ゼロというのは、菊池市内の女性の働く割合が少ないのが理由か？

執行部	母親の就業率は、比較的が高い。
委員	保育料の無償化で、悪い影響は出ていないか？
執行部	短時間保育と標準時間保育があり、保育料に違いがあるが、無償化になったので標準時間保育を選ぶ人が増え、保育士の労働環境は厳しくなっていると思う。
委員	保育園の場合は、菊池市外の保育園にも入園できるのか？
執行部	保育園の場合は、実家があるとか、祖父母のお迎えがある等、理由がある場合は市外の保育園に通うことができる。ただし、基本的には住民が優先なので、空きがあった場合のみとなる。
施策 14 高齢者福祉の充実	
委員	要介護認定率の目標値が横ばいというのは、これ以上認めないということか？
執行部	介護予防に力を入れ、高齢者ができるだけ要介護状態にならないように努め、認定率を現在の水準で抑えたいという考えである。
委員	高齢者の自動車運転免許証返納が世の中で言われている。私の住んでいる所もそうだが、車の運転ができなくなったら高齢者は死ねと言われているのと同じだという方もいる。自動販売機もない地域に住んでいる人に対して、生活をサポートしたり、相談できるサービスはあるのか？
執行部	大きな問題と認識している。山間部では「きくちゃん体操」を週 1 回以上定期的に行っている公民館などに移動販売車がきて、買い物ができるような生活をサポートする取り組みを行っている。しかし、十分な取り組みとは言えない。
委員	三セク、JA が移動販売を行っているが、コンビニの移動販売であっても、おそらく赤字だと思う。行政が補助することで様々な買い物を支援することができる。
委員	住民運営の「通いの場」というのは、各区のサロンや公民館ではなく、民間運営の事業所のことか？
執行部	民間運営ではなく、公民館や 5 人以上の集まりがあれば自宅であっても「通いの場」としている。
施策 15 社会福祉の充実	
委員	民生委員・児童委員の現状は？

執行部	今年は3年に一度の民生委員・児童委員の一斉改選であるが、現在、定数109人のうち、あと数名決まっていない状況である。今後、区長等と協議をしながら、候補者の選定に努める。
委員	障がい者就労系サービスには、引きこもりの人も含まれるのか？
執行部	サービスを受ける人の中には、引きこもりがきっかけで就労サービスにつながった人もいる。県で引きこもりの実態調査を県下一斉に行っており、民生委員・児童委員にお願いして全体像を把握している状況である。引きこもり者の実数把握は難しいが、全般的には市の生活困窮者自立支援事業くらしサポートセンターの窓口で相談を受けている。
施策 16 健康づくりの推進	
委員	特定健診の受診率が上がらない理由は？
執行部	特定健診の受診率が上がらないためこれまで試行錯誤してきた。現在治療中で病院にかかっている人が多く、未受診者の半数以上は治療中の人である。治療中の人は病院にかかっているため健診を受ける必要がないと思っている人が多い。特定健診は国の政策であり、治療中の人も受診するように勧められているものであるため、かかりつけ医と連携することで検査情報をもらい、検査項目を満たしていれば健診を受診したとみなすことができる。医療機関と連携を強化していきたい。
委員	特定健診の受診率は、人間ドック分を含むのか？
執行部	国保で特定健診を受けた人が受診率に含まれ、40～74歳で国保で助成している人間ドックを受診した場合は含まれる。社会保険の方は、社保の方から特定健診の案内がある。
施策 17 自然環境と景観の保全	
委員	農業委員会は、農地に係る部分であれば農地転用の許可を出す。旭志の山には広範囲の太陽光発電パネルがあり心配である。環境課としては規制をするといった環境面での問題意識はあるか？
執行部	山については、森林法による制限以外の規制が無い。太陽光発電装置に関して市の規制条例が今のところ無いため、色んな心配の声がある。太陽光パネル設置を差し止めるというのは難しいが、景観を損なわないとか、周辺の農地や河川に影響を及ぼさないような対策を取らなければならないといった内容の規

	制条例の制定を検討している。1,000㎡以上の土地の開発については、環境基本条例に基づき、環境課に事前協議をお願いしている。事前協議の中でも周辺に対して影響が無いよう開発をお願いしている。
委員	災害が起きそう、あるいは災害が起きたといった、問題や懸念される事例はあるのか？
執行部	平成 24 年の九州北部豪雨では、太陽光発電パネルに流れた雨が集中し土砂が流出した例もあった。
施策 18 循環型社会の推進	
委員	木質チップ等のバイオマスをうまく運営している自治体があるが、菊池も森林が多くある。バイオマス導入の動きはあるか？
執行部	現在、木質バイオマス発電をしているところは、荒尾市・日田市・八代市。菊池市管内の木材はそれらの市で消費されているので木質バイオマスについては検討していない。
委員	ゴミのリサイクル率は低いと思う。ゴミは埋め立てか、焼却か？
執行部	県平均のリサイクル率は出ていないので、他市の数値を報告する。熊本市 23.3%、宇土市 14.6%、荒尾市 14.7%、天草市 12.6%である。市によって分別方法が異なるため、一概に比較できない。ごみ処理については、泗水地区は南部清掃組合で焼却し、菊池・七城・旭志地区はエコヴィレッジ旭で RDF 化している。
委員	RDF 固形燃料というのは何でも燃料になるのか？
執行部	指定ゴミ袋（赤）で収集しているものは、全て燃料になる。菊池郡市一体となった新環境工場が建設中であり、令和 3 年 4 月からは市内全域で焼却となる。今後はリサイクルの品目を増やすように、菊池・七城・旭志地区については令和 2 年 4 月からは分別方法を変更して進める。
委員	人口が 20 万人くらいのごみ焼却施設が一番効率的だと聞いたことがある。そういった意味では最適化できると思う。家庭ごみの削減について、何かいい方法はあるか？
執行部	現在も模索している。例えば、小学校に出向き環境学習を行っている。その中で菊池市 1 人当たりのごみ排出量が一日あたり約 560 グラムなので、子どもたちに家庭ごみを 60 グラム減らそうという学習を行い、子どもから家庭に普及するよう取り組んでいる。

施策 19 防災・消防体制の充実	
委員	防災士登録者数を増やすため、何か工夫されていることはあるか？500人という大きい目標を掲げているが、状況はどうなっているのか？
執行部	防災士登録者数は、市長公約で500人を目標として掲げてある。現実的にはかなり難しい状況である。菊池市・合志市・菊陽町合同で養成講座を行っており、受講者数の割り当てが決まっているため、一気に100人、200人という割り当ては無い。今年度は60人程度である。
委員	地域で増やしたりとか、地域制はあるのか。
執行部	地域制は、特に考えていない。
委員	安心安全メールの登録者数が少ないが、増やしたほうがいいのではないか？
執行部	安心安全メールはいわゆるガラケーでもメールを送れるものです。現在は、スマートフォンやタブレットで使えるアプリ「菊池防災行政ナビ」のインストールを推進している。安心安全メール登録者数が4,357人、スマートフォンアプリが今年9月末現在4,269人が登録している。
施策 20 安全安心なまちづくりの推進	
委員	菊池には、防犯カメラの設置が少ない。防犯の意味でもカメラの設置は必要だと思うが市の考えは？
執行部	今年度から警察署と協力して5台設置している。今後は、財政的なことも含め増設の可否について検討していきたい。
施策 21 公共交通の充実	
委員	べんりカー利用者が減少しているということは、要らないということか。あるいは、使いづらいから使わないのか。市はどのような分析をしているか？
執行部	べんりカーが無い地域からは、うちの地域にあるといいなという意見はある。便数は確かに少なく、使い勝手が悪いという意見もあるが、一定数の利用はある。周知が不十分であると認識しており、11月の広報紙で特集を組んでいる。また、公共交通会議時に、使い方が分からないという声があったので、区長会で説明するなど、できるところからやっていく。

委員	泗水の中央地区になると、便利といって使っている人の声を聞く。やはり周知徹底が必要である。
委員	交通弱者への対応は、よく取り組まれていると思う。こういう交通手段があれば、歳をとっても安心。他のところでは、スクールバスを活用しているところがある。
施策 22 魅力あるまちなか整備	
委員	築地井手は、蓋を撤去できるのであれば、危険を回避したうえで、木を植えたり、鯉を泳がせたりできればいいと思う。それと街並みをレトロな雰囲気にするとか、長期的な景観づくりの計画や方向性があるといい。
委員	白いガードレールを茶色にするなど、少しずつやっていくと 10 年、20 年後には街並みは変わってくる。
施策 23 移住定住の促進	
委員	IT 企業のサテライトオフィス誘致の状況は？
執行部	龍門小学校跡地を、IT 企業のサテライトオフィスとして誘致を行っている。
委員	移住者にとって菊池市の魅力は何か？
執行部	移住者との懇談会では、都会より田舎暮らしが良いとの意見を聞いた。病院も比較的近くにあるのも良いようだ。
委員	田舎暮らしがしたい人は、山手にある空家に住んでいるのか？
執行部	そういった所を望んで住んでいる人もいる。移住者の定義としては、市の空き家バンクに登録された物件を購入するなどして、移住された方をカウントしている。
委員	市役所職員には、できるだけ菊池市に住んでいただきたい。
執行部	関係人口を増やすことで、菊池市にお金を落とすことになるので、関係人口の増加に向けた取り組みも進めている。
施策 24 住環境の整備	
委員	熊本地震以降は、特に市営住宅の需要が増えていると思う。

執行部	今のところ新たに住宅を建設する予定はない。老朽化した市営住宅については、長寿命化のための改修を行っている。
施策 25 上下水道の整備	
委員	七城地区の一部で地下水に硝酸性窒素が含まれていた。七城地区の水道化の考えは？
執行部	対象となる 12 地区の全世帯にアンケート調査を行った。水道事業、小規模水道事業の整備の意向調査であり、分析を行った後、各区の説明会を行う予定である。以前行った七城全地区のアンケートでは水道加入を希望する世帯が 18%程度であり、事業を進めるには厳しいと判断した。
委員	最近、熊本市などでは大規模の病院やデパートでは、地下水に切り替え水道料金を払わない傾向がある。菊池ではそういうことはないか？
執行部	現在のところ、そういった事例はない。
施策 26 開かれた市政の推進	
委員	市長と語る会は、実施方法を変えたのであれば、当初設定した成果指標の参加者数は目標としてあまり意味がない気がする。
施策 27 行政機能の充実	
委員	「おくやみねと菊池」とは、どういったものか？
執行部	市民課に死亡届を出した時に、住所氏名等を一度入力すると、手続きが必要な課に○が付く。行った先には、亡くなられた方の住所氏名が既に出力した形で、手続きができるという仕組みである。毎回、手続きに名前を書く必要がないという手間が不要。
委員	マイナンバーカードは、今後保険証の代わりになるのか？
執行部	将来的には、マイナンバーカードが色々な形で使えるようになると思うが、今はマイナンバーで住民票などの証明書がコンビニで取れる。土日でも朝 6 時半から夜 11 時まで、住民票を取れるのでマイナンバーがあれば、市役所が空いていない時でも取得ができる。できる限り皆様方も取得してほしい。
委員	取得率が、1 桁とは驚いた。

委員	国は、令和 4 年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを持っているという設定なので、目標値はもっと高くいいのではないか？
執行部	現在の取得率が低いので、現在の取得率を勘案して目標を設定した。100%取得を目指しながら取り組む。
施策 28 財政基盤の強化	
委員	経営状況について、分かる範囲で説明をお願いしたい。
執行部	菊池市の財政状況を健全化判断比率で説明する。4 指標あるが、実質赤字比率と連結実質赤字比率、将来負担比率とあるが、実質赤字比率と連結赤字比率はマイナス表示で赤字で無い。また、実質公債費比率が 9.5 であり、早期健全化基準は 25 を超えると経営的によくないと判断される。それからすると 9.5 なので順調であり、全体的に見ても健全な状態を維持している。ただし、今後は扶助費の増加が見込まれ、公共施設の維持管理においても今後大きな費用が必要になる。徐々に悪化することを考えれば、歳出削減に努めておく必要がある。
委員	物件費の削減は、主にどのようにしたのか。シーリングをかけてずっと減らしているが大丈夫か？
執行部	中期財政試算の過程で各課ヒアリングを実施し、物件費についてはある一定率で削減を行ったり、中身を確認して分かるようにした。
	終了